

「志賀原子力発電所における石川県・志賀町への連絡基準に係る覚書」
連絡区分 に係る連絡（平成20年6月分）について

本日、北陸電力(株)から、連絡基準に係る覚書連絡区分（保守情報として連絡することが適当なもの）に該当する事象の平成20年6月分の連絡があった。

連絡のあった事象は、以下の2件であり、詳細は別紙の通り。

- ・ 志賀2号機 燃料プール冷却浄化系保持ポンプ（A）の故障について
- ・ 志賀2号機 発電機固定子冷却水ポンプ出口配管溶接部のわずかなひびについて

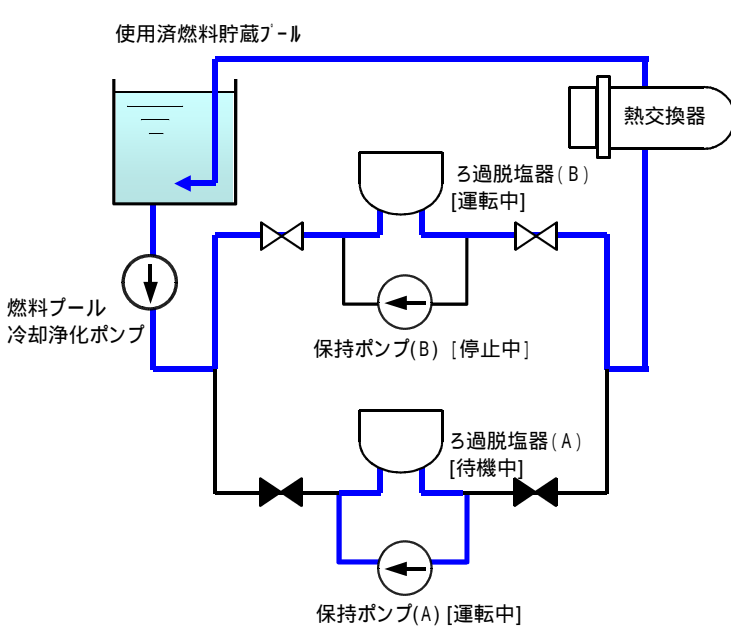
いずれも放射性物質の漏えいはなく、環境への放射能の影響はなかったことが確認されている。

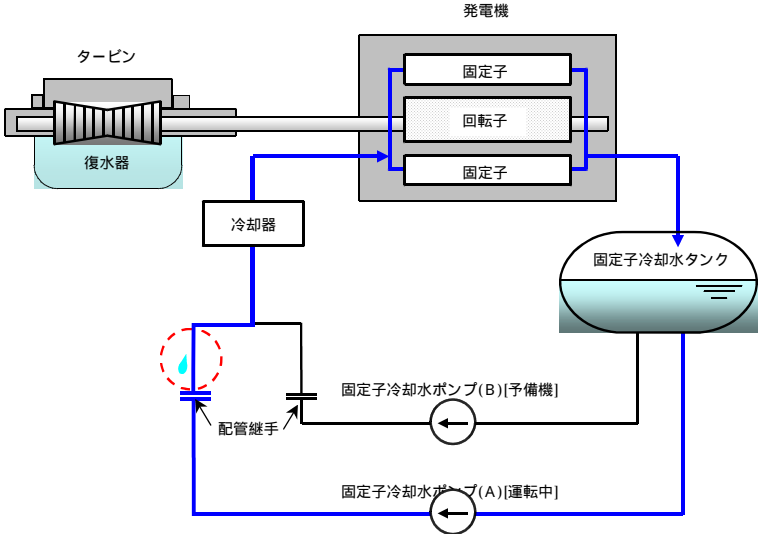
原子力安全対策室では、定期に行っている立入調査により、北陸電力の対応状況について確認を行っていく。

参考) 北陸電力HP <http://www.rikuden.co.jp/mreport/index.html>

連絡区分：原則として翌月10日までに連絡するもの

平成20年7月10日 原子力安全対策室 県庁内線 4233 直通 076(225)1465
--

発生日	件名	事象の概要
6月17日	志賀2号機 燃料プール冷却浄化系保持ポンプ(A)の故障について	<p>志賀原子力発電所2号機は、定格電気出力にて運転中のところ、6月17日(火)11時36分頃、使用済燃料貯蔵プール水に含まれる不純物を除去する機器(ろ過脱塩器)の付属機器である保持ポンプ^{*1}(A)が停止した。</p> <p>当該ポンプとその電動機を点検したところ、電動機内部の固定子部分にポンプから浸入したと思われる水滴を確認した。この水により、当該ポンプの電動機に漏電が発生し停止したもの。</p> <p>今後、当該ポンプの補修を実施。</p> <p>なお、使用済燃料貯蔵プールには使用済燃料は貯蔵されていない</p>  <p>^{*1} 保持ポンプ 使用済燃料貯蔵プール水が通水されていない待機中の状態で、不純物を除去する機器内のイオン交換樹脂を保持させておくため水を循環させるポンプ。</p>

発生日	件名	事象の概要
6月23日	志賀2号機 発電機固定子 冷却水ポンプ 出口配管溶接 部のわずかな ひびについて	<p>志賀原子力発電所2号機は、定格電気出力にて運転中のところ、6月23日(月)5時19分頃、発電機固定子冷却水ポンプ^{*1}(A)出口配管溶接部にわずかなひびを発見した。</p> <p>当該ひびからは、放射能を含まない水(純水)が約10cc、下部の配管継ぎ手等に滴下していた。</p> <p>当該ポンプを予備機に切り替えるとともに、当該溶接部のひびについては補修を実施。</p>  <p>^{*1} 固定子冷却水ポンプ 発電機の固定子を冷却するための冷却水を循環させるポンプ。 なお冷却水は、純水であり放射能は含まれていない。</p>